

2023年8月
(No.101)

あこう社協だより



新型コロナウイルス特例貸付を振り返る	2P
まち発見! あこう福祉ニュース	4P
新規登録サロン紹介「えがおサロン」	6P
各種講座開催案内	7P
あこうのホッとな人No.47	8P

7月22日(土)、橋本町・駅前町自治会の合同で「夏祭りだヨ! 全員集合」が開催されました。当日は、ぶよぶよすくいや射的などの子どもが楽しめる催しや、焼き立てバームクーヘンやその場で立てたお抹茶が入った抹茶ラテなどの美味しいグルメが用意されており、暑さに負けない熱気で子どもから大人まで楽しいひと時を過ごしました。

新型コロナウイルス特例貸付を振り返る

新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）は、令和元年12月に初めて感染者が発見され、瞬く間に日本でも感染が拡大しました。その影響は、3年以上経過した今も続いています。

新型コロナウイルス特例貸付とは、コロナの影響で減収した世帯を対象に、国が無利子で資金を貸し付けした特例の制度で、全国の社会福祉協議会（以下、社協）で、令和2年3月25日～令和4年9月末までの期間、受付事務を行いました。赤穂市においても、暮らしに困窮された多くの方が利用申請されました。



市内だけで合計3億円余りの貸付決定

当初は令和2年3月25日～7月末までの受付期間で開始されましたが、感染拡大の繰り返しなどの状況があり、最終的には10回延長されました。

赤穂市においては、緊急小口資金・総合支援資金合わせて、271世帯に対し、729件3億425万円が貸付決定されました。

（緊急小口資金）上限20万円×1回

（総合支援資金）上限20万円×3カ月

	件数		金額(円)
緊急小口資金	259		48,500,000
総合支援資金	初回	218	470
	延長	118	
	再貸付	134	
合計	729		304,250,000

年代	申請世帯		正規雇用		自営業		非正規雇用		無職	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
20歳代	35	13.0%	9	25.7%	10	28.6%	11	31.4%	5	14.3%
30歳代	48	17.8%	13	27.1%	5	10.4%	23	47.9%	7	14.6%
40歳代	68	25.3%	18	26.5%	21	30.9%	24	35.3%	5	7.4%
50歳代	65	24.2%	9	13.8%	19	29.2%	27	41.5%	11	16.9%
60歳代	40	14.9%	9	22.5%	19	47.5%	7	17.5%	5	12.5%
70歳代以上	13	4.8%	1	7.7%	7	53.8%	3	23.1%	2	15.4%
合計	269 ※	100.0%	59	21.9%	81	30.1%	95	35.3%	35	13.0%

※市社協窓口での申請世帯数

●雇用状況は複数の方がいたため、合計100%とはなりません。

年代を見てみると、40歳代が25.3%と最も多く、次いで50歳代と続いています。また、雇用形態別に見てみると、雇用が不安定な非正規雇用の方からの申請が35.3%と最多でした。相談では、「コロナの影響で仕事が減り、解雇された」「シフトに入ることができず、減収となった」などの声が聞かれ、不安定な生活状況が垣間見えました。

年代と雇用形態を合わせて見ると、30歳代のうち非正規の方が割合として最も多く、47.9%となっています。年代別に家族構成を見たところ、30歳代は、末子が小学生未満の世帯が半数近くあり、今後の生活に向け、継続的な支援が必要と考えられます。

現況調査から見たこと

赤穂市社協では、令和5年4月28日～5月26日までの期間、社協窓口にて特例貸付の申請を行った世帯へ現況調査を実施しました。

対 象：265 世帯（債務整理中などの世帯除く）

回答数：81 世帯（回収率 30.6%）

方 法：案内を郵送し、紙面または Google フォームでの回答を受付

地域の研修会などで“地域のつながりづくり”を伝えているものの、右記の設問では「隣近所の人」を選択した人は 3.7%でした。また、「頼れる人はいない」と回答した方は、24.7%でした。

しかし、「コロナ禍前」「特例貸付申請時」「現在」の困りごとを尋ねる設問では、「身近に相談できる人がいない」と回答した方が、順に 9.9%、6.2%、4.9%という結果になっており、相談できる人がいないことを、困りごととして捉えている方が少なく、減少しているという結果でした。

いざというとき、頼れる人(複数回答)

	件数	割合
同居の家族・親族	31	38.3%
別居の家族・親族	34	42.0%
友人	16	19.8%
隣近所の人	3	3.7%
職場の同僚・仲間	6	7.4%
行政(市役所)	6	7.4%
社会福祉協議会	15	18.5%
頼れる人はいない	20	24.7%

特例貸付申込者の声

特例貸付の申請時には大変不安でしたが、話を聞いてくださり、本当にありがとうございました。そのときに頂いた食料品も助かりました。

(40 歳代女性)

コロナが終わったわけではないし、物価高も厳しい。困っている人が声を出しやすい場、時間をたくさん作ってほしい。

(50 歳代女性)

今回ご紹介した内容はごく一部です。社協では、行政などと連携・協働しながら、可能な支援を積極的に行います。生活で何かお困りごとがあれば、どなたでもご連絡ください。

●赤穂市社会福祉協議会
連絡先は、ページ下部まで
●市社会福祉課相談窓口「え～る」
TEL 0791-43-6986
FAX 0791-45-3396
メール hogo@city.ako.lg.jp

フードドライブ回収BOXを常設

この度、フードドライブを推進することを目的に、家庭で余っている食品や日用品などを回収するBOXを常設しました。集まったものは、必要な方や支援団体へお渡しします。皆さまのご協力をお願いいたします。



設置場所 **総合福祉会館 1階ロビー**

受け入れするもの

- お米(玄米・精米)
- インスタント食品
- レトルト食品
- 野菜
- 調味料
- 日用品
- おむつ
- 衛生用品

受け入れできないもの

- ×賞味期限が過ぎているもの
- ×生肉や生魚などの生鮮食品(冷蔵・冷凍品)
- ×アルコール類(みりんなどは除く)
- ×開封済み、破損しているもの
- ×手作り品

フードドライブ実施団体・企業を募集しています。ご相談・問合せは下記まで！

まち発見! あこが福祉ニュース



”晴れの日”のお手伝い

7月1日(土)・2日(日)の2日間、「貸衣裳展示会」を開催しました。成人式の振袖、七五三の袴や着物などの試着やご相談、申し込みをいただきました。ご来館いただきありがとうございました。



美味しく食べて、楽しく体験!

7月1日(土)、こども食堂「ばする」が行われました。5月から新しく開設され、赤穂市で2カ所目のこども食堂となります。栄養のある美味しい食事を食べながら子ども同士、親子で楽しい会話はずんでいました。また、体験のコーナーでは、実際に竹に穴を開けて作った水てっぽうで遊んでいました。



支えあいについて考えよう!

7月8日(土)、坂越地区の東之町にて、地域の方が集まり、支えあいマップづくりを行いました。子どもがいる家庭、高齢者がいる家庭、災害時には声掛けが必要な家庭など、話し合いながら実際の地図に書き込んでいきました。地図で見ると改めて地域の課題が見え、支えあいに繋げる良い機会となりました。



楽しくふれあう交流会

7月7日(金)、『点訳ボランティア「赤穂点灯会」とユーザーの交流会』を開催し、計24名が参加しました。

普段は広報や図書、カレンダーなどの文字を点訳し、送付することでつながっていますが、この日は、4年ぶりに意見交換やレクリエーションなど、実際に交流し、お互いの理解を深めました。



新しいことにチャレンジしてみよう

7月13日・20日(木)、「手話啓発講座」を開催し、延べ29名が参加しました。赤穂ろうあ協会を講師に迎え、「手話を覚える」ではなく、大人から子どもまで幅広い年代の方が「手話に触れる」ことを目的に楽しみながら参加していました。



人とのつながりで守れるもの

7月15・22・29日(土)、「第38回市民福祉講座」を開催し、延べ175名が聴講しました。人との絆や防災、ヤングケアラーについての講話を通じて、普段からの自分自身の考え方や人とのつながりの大切さなどを学びました。参加者からは「とても参考になった。今後実践していきたい」と、好評でした。

オンリーワンだよ!

7月29日(土)、「手作りおもちゃ教室」を開催し、たくさんの家族が参加しました。いろんな大きさの木のパーツを、ひとつひとつ組み合わせる過程を楽しみながら、オンリーワンのビー玉ころがしが出来上がりました。

賛助会費ありがとうございました (敬称略)

【個人】岡田 勲 山本 吉広 後藤 利彦 横山 和弘 小林 正典 霜田 直宏
 浮田 和子 新田 順子 安井 豊 松田 利一 古森智恵美 浜野 好正
 久保 明喜 濱田 学 小椋 康博 潮海 忠生 匿名5名

【法人】(株)アコオ機工 菱彩テクニカ(株)赤穂工場 (株)亀井産業 ジオマテック(株)赤穂工場
 三菱電機(株)系統変電システム製作所 アトラス情報サービス株式会社 アース製薬(株)
 赤穂化成(株) スイーツ+カフェプリエール (有)つづれや (有)寺田薬局 郷司動物病院
 シオヤ外科胃腸内科 赤穂市駅前町老人クラブ寿会 やの写真館 播磨屋 井川木材(株)
 岩谷内科 (株)ヤナギハラ 大島農機(株) (株)総本家かん川 田中花店 きむクリニック
 赤穂仁泉病院 赤穂市シルバー人材センター 住友大阪セメント(株)赤穂工場 匿名1件

福祉の拠点をみんなで支えてください。

●法人会費 5,000円 ●個人会費 2,000円 ●一般会費 500円



あなたのやさしさを善意の窓口へ

善意銀行だより

赤穂市善意銀行
マスコットキャラクター

あたたかい善意をありがとうございました
預託状況(6月29日~7月31日受付分)

ぜんい君 こころちゃん

寄せられた預託金は、赤穂市における福祉活動の推進になくてはならない貴重な財源となっています。

今後も預託者のお気持ちを大切に、身近な地域で活用していきますので、善意銀行への理解と支援をよろしくお願いたします。

●委任預託 (敬称略)

住 所	預 託 者	金 額	預 託 内 容
中 広	善意の募金箱	1,500	貸衣裳展示会にて善意に
東 浜 町	二宮 紀秀	1,000	福祉のために
中 広	総合福祉会館	2,055	善意の募金箱
—	匿名	20,000	福祉のために
有年横尾	かぶーん うね	10,000	売上金の一部を
大 津	匿名	5,000	福祉のために

◎善意銀行受付窓口・・・赤穂市社会福祉協議会◎

新規登録
サロン紹介

えがおサロン(はりま台)

住み慣れた地域で明るく楽しく健康に過ごせるようにと、4月に開設されました。毎月、集会所でお茶会や季節の行事などを楽しんでいます。また、夏休みなどには、子どもにも参加を呼びかけ、世代を超えて交流する場も設ける予定にしています。早速、7月は日曜日に開催し、三世代で防災について楽しく学びました。

代表の八瀬和子さんは「子どもから大人までみんな仲良く交流できる場になっていきたいです」と話していました。



えがおサロン

- 開催日時：毎月第1月曜日
午前10時30分～11時45分
- 場 所：はりま台集会所
- 参加費：無料



教えて!

障害福祉サービス

Q 入院中に同行援護の利用はできますか？

A 長期入院中の人などが外出のみの目的で同行援護を利用することは可能です。
(これまで障害福祉サービスを利用していなかった人も同様に可能です)
介助者が入院先で利用者と合流し、看護師から引き継ぎを受けるところから開始になり、入院先に戻り、部屋等へ誘導し、看護師に引き継ぐまでがサービスです。



同行援護とは

障害者総合支援法に基づく居宅系サービスの1つで、視覚障がい者等の外出時に介助者が同行し、移動に必要な情報を提供するとともに、その障がい者等が外出する際に必要となる援助を行うこと。

【問い合わせ先：赤穂市社会福祉課 障がい福祉係 ☎43-6833】

心配ごと相談所のご案内

(8月16日～9月6日まで)

- 【一般相談】 8月23日(水) 9月6日(水)
- 【弁護士相談】(要予約) 8月16日(水)
- 【カウンセラーによるこころの相談】(要予約)
8月23日(水) 9月6日(水)

※時間はいずれも午後1時～5時までです。
※相談は無料です。

問合せは、下記までご連絡ください。

ひきこもり家族のつどい

- ◆日 時：8月24日(木)
午後1時～4時 **時間内
出入り自由**
- ◆場 所：みんなのいえ
(赤穂市塩屋656-17) **申込不要**
- ◆対 象：ひきこもり状態にある方の家族
- ◆参加費：無料
- ◆問 合 せ：下記までお問合せください。

初級朗読講座

社協では、ボランティアの協力のもと、視覚に障がいのある方を対象に、声のおたより（録音CD）で、地域の情報を提供しています。聞き取りやすい読み方や、正しい発声法など、朗読の基礎から学び、ボランティアを始めてみませんか。

- ◆日時 10月3日～令和6年3月19日
毎月第1・3火曜日 全10回
(12月は5日のみ、1月は16日のみ)
午後1時30分～3時30分
- ◆場所 総合福祉会館 2階技能習得室(2)
※11月7日のみ1階多目的室で行います。
- ◆対象 本を読んだり、声を出すことが好きな市民10名
- ◆講師 赤穂朗読ボランティアグループ「来夢」
- ◆受講料 無料
- ◆申込締切 9月26日(火)
※定員になり次第締め切ります。
- ◆申込先 下記までご連絡ください。

生活支援サポーター 養成講座

高齢者の生活に寄り添い、日々の暮らしのちょっとした困りごとを支援し、暮らしの応援者になっていただくため、必要な基礎知識を学ぶ講座です。一度受講しておけば、いつでもお仕事が始められ、市外の事業所でも働くことができます！

- ◆内容 家事援助や認知症、介護などに関する基礎知識
- ◆日時 9月6日～10月4日
毎週水曜日 全5回
午後1時30分～4時30分ごろ
※日によって終了時間が前後することがあります。
- ◆場所 総合福祉会館 2階研修室
- ◆受講料 無料
- ◆申込締切 8月28日(月)
- ◆申込・問合せ
赤穂市地域包括支援センター
(総合福祉会館内)
電話 42-1201 FAX 42-1260



“福祉作文”募集します！

福祉に対する理解や認識を深めていただくため、『身近な福祉問題や活動』をテーマにした作文を募集します。

- ◆応募資格◆
市内在住の人または市内に通勤・通学する人
- ◆応募方法◆
応募作品に「題名、氏名（ふりがな）、住所、職業（学校名）、年齢、電話番号」を記入し、400字詰原稿用紙(20×20マス、A4サイズのみ)3枚以上5枚以内に**濃くはっきり**と書いて原本を提出してください。
(応募作品は未発表のものに限ります。返却いたしません。)
(応募者全員に参加賞があります。)
- ◆応募締切◆
9月8日(金) 下記まで持参または郵送
- ◎入賞者は、12月の「障がい者週間 ともに考える市民のつどい」の席上にて表彰する予定です。(佳作は除く)

ささえ愛フェスタ

24時間テレビチャリティー募金の趣旨に賛同し、募金活動への協力を目的に実施します。

子どもから大人まで楽しめるイベントとなっておりますので、皆さまのご参加、また募金へのご協力もよろしくお願いいたします。

- ◆日時 8月26日(土) 午後4時～7時
- ◆場所 いきつき広場(西側)
- ◆内容
 - ・募金ブース
 - ・ステージ
(太鼓やバンド演奏・ヒップホップやカントリーダンス等)
 - ・出店
(福祉施設の物品販売・かき氷・スーパーボールすくい・ヨーヨーつり・メダカすくい等)
 - ・キッチンカー
- ◆主催・問合せ 赤穂ボランティア協会
090-3674-6576





◎毎日、夫と近所の公園を5km、1時間かけてウォーキングしていますが、そこで会った人が挨拶をしてくれました。また、先日、雨の日に歩いていたら「雨の日も歩いているんやね」と声をかけてくれる人もいました。何気ないことですが、挨拶はともうれしく、気持ちが良いなと感じました。今度は私から挨拶してみようと思います。

(たむちゃん)

『あこう話』募集



(応募方法)氏名(ペンネーム)・年齢・性別・電話番号を明記し、持参・郵送・Eメールのいずれかで応募ください。200字程度にまとめてください。
※送付先は、下記をご覧ください。

～あこうの **ホツ** と な人～

No.47

今回は、外国人への日本語指導や子どもへの学習支援、介護特別食の配達などのボランティア活動をされている真鍋憲昭さんにお話を伺いました。

Q. 活動を始めたきっかけは？

A. 徳島県で幼稚園や学校の教員、学校長などをしており、それを生かして退職後にネパールやタイなどの海外で日本語を教えていました。また、阪神淡路大震災で災害ボランティア活動を見たことがボランティア活動を広げるきっかけになりました。

Q. 活動をしていてうれしかったことは？

A. 社協の事業で高齢者宅へお弁当を配達しています。そこで利用者から「ありがとう」という感謝の気持ちをもたらえます。お弁当を作っているのは調理ボランティアの方なので申し訳ない気持ちがありますが、うれしくやりに繋がっています。

Q. これからの目標は？

A. 介護支援ボランティアポイント制度を活用して、施設で将棋やコミュニケーションなどのボランティアを始めました。このような介護のサポートに携われるボランティアをこれからも続けていきたいと思っています。



「少しでも誰かの力になれば」
真鍋 憲昭 さん (板屋町)



■ 編集後記 ■

今年度の三世代交流事業の1回目の審査委員会で5団体の助成が決定しました。そのうちの1団体の夏祭りが先日開催されました。夏祭りや秋祭りなど少しずつ地域の行事が復活しつつあることをうれしく思います。これからも地域のつながりの場づくりについて支援をさせていただきたいと思っています。(山)

ご意見・問合せは

社会福祉法人 赤穂市社会福祉協議会

〒678-0232 赤穂市中広267番地
電話 0791-42-1397 FAX 0791-45-2444
E-mail ako-shakyo@ako-shakyo.jp

ホームページ
公式・SNSも
ご覧ください!



赤穂市社協

検索



(音声版をホームページに掲載しています。ぜひお聞きください!)

